

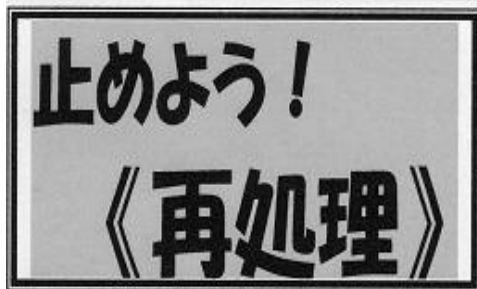
三陸の海を放射能から守る
岩手の会

ミニコミ通信 第15号

ホームページ

(岩手の環境/R1廃棄物/再処理)

郵便振替 02240-5-102650



2006 (平成18) 年

3月14日

編集事務局 S.Oshida

電話・ファックス

019-623-1636

再処理の廃液で 三陸の海産物は大丈夫か？

各方面から説明会要請の声上がる

岩手県・沿岸15市町村長・県漁連・原水禁・労組・消費者団体など

岩手県が原燃に

説明会の要請文送付 三月八日

二月二八日の岩手県議会における増田知事の日本原燃が本県漁業者に対して説明の機会を設けるよう要請する」との答弁を受けて三月九日予算特別委員会において小原宜良議員 政和 社民クラブが、説明方法などを質問しました。これに対して生活保全課熊田久総括課長は 早急に説明の機会を設けるよう知事名で要請した」と述べました。

一五市町村長
が日本原燃に
要請文

三月八日、本県沿岸部市町村長は六ヶ所核燃再処理について岩手県内で説明会を開催するよう求める要請文を日本原燃株に送りしました。要請文は洋野町から高田市までの一二市町村と遠野、住田町、川井村の首長の連名で、岩手県沿岸の多くの漁業者、住民から海洋汚染や海産物の影響を懸念して、具体的な説明を求める声があがっ

ています。どの市町村とも憂慮しており、青森県、六ヶ所村と安全協定を結ぶ前に岩手県沿岸の複数の会場で説明会を開催するよう強く要請する」という内容です。

県民の疑問に充分答えられる説明会に
「岩手の会」が要請

「三陸の海を放射能から守る岩手の会」の六人は三月十日岩手県庁を訪れ、県環境保全課の熊田淳総括課長に県民の疑問に充分答えられるような説明会」とするよう要請書を手渡しまし

た。岩手の会の六人は事業者の主催する説明会では、一方的説明に終始し、我々の質問に答えない懸念がある。県の主催する説明会を開き、内陸部の市町村でも開催することや、誠実な質疑応答で県民の疑問に答えるものとなるように求めました。熊田課長は県主催の説明会は考えていない。説明責任は原燃にある」と答えました。

岩手県東京事務所へ
首都圏消費者団体
要請行動

東京周辺の消費者団体の代表八人が、三月八日、永田町の岩手県東京事務所を訪れ、安心して食べられるおいしい三陸の魚



を食べ続けるために、岩手県は頑張っほしい。増田知事は三陸の海を守るために日本原燃や青森県に

岩手県大阪事務所
でも要請行動

強い姿勢で働きかけてほしい」とする要請文を手渡しました。要請書に名前を連ねたのは、ふえみん婦人民主クラブ、日本消費者連盟、天地を守る会など二十一団体、二十一一人。青森県と宮城県事務所にも要請しました。

三月一日岩手県大阪事務所にも近畿圏の消費者団体等の代表八人が訪れ、三陸の海産物を放射能から守るよう要請を行いました。要請を行ったのは、六千五百人の会員を擁する安全食品連絡会をはじめ十三団体で、青森、宮城の大阪事務所も訪れました。

宮城県本吉町で
漁民が要望書

宮城県本吉町で、三月七日、漁業者有志が再処理工場が操業すると放射能汚染が心配される」として町長と町議会に要望書を提出しました。

これだけは聞きたい 原燃説明会

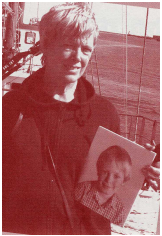
特に赤ちゃん・子供が心配



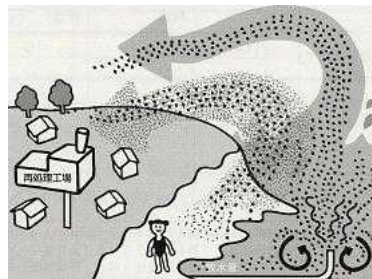
質問1、セラフィール
下周辺で小児ガンが
十倍に増えたといいま
すが本当ですか？

イギリスの再処理工場
周辺の白血病や小児ガ
ンの罹患率は周辺の十倍
多いということは英政府
も認めています。ウィル
ス説」は成り立ちません。

人体内部に取り込まれ
たプルトニウムなどの放
射能微粒子は、成長や
生殖に関わる細胞の遺
伝子を欠損させます。
安全性の計算に赤ちゃ
んや子供についてどのよ
うな数値を使いました
か？



質問2 経口致死量
四万七千人分の多量
の放射能を本当に流
すのですか？



常識からして、飲ん
だら四万七千人が死ぬ
ほどの毒物を、海に流し
てよいわけがありません。
原燃自身が作製した事
業計画書」から計算した
一年間に流す放射性毒
物の量です。『それは、本
当なのか！』という私
たちの何回もの質問に、
原燃は何ら反論もせず

「流しても」大量の海水
で薄まるから安全」と答
えるのみです。

放出されるのは通常原
発の「温排水」ではなく
毒液です。フランスのラ
アグ再処理工場の海
底放出口の放射能は、通
常の海水の千七百万倍
あり、近寄ることも危険
な状態であったといいま
す。この放射能が、越
前クラグが示すように、
南下する海流にのって、
三陸海岸に流れ着くこ
とを認めますか？

質問3 工場周辺で
は自然放射能よりも
低い」と想定していま
すが、どのような計
算によりますか？

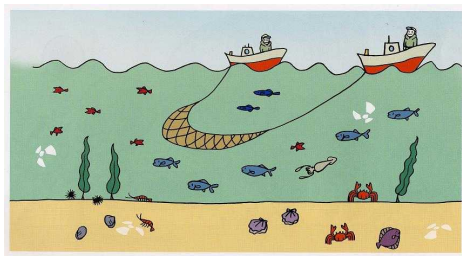
海底の放出口では、も
のすごい濃度の放射能液
なのに、陸上の六ヶ所
工場周辺では、年間0.
022ミリシーベルトと想
定していますが、どのよ
うに計算すれば、そのよ
うな数値になりますか？
工場周辺のみでは
なく、人間の住む地域や、
海域の全てについて測定
し算出し、公表するべき

ではありませんか。

質問4 三陸の海
域の環境評価をなぜ
やらないのですか？

海底に放出して、陸上
に住む人が浴びる放射
線が少ないから安全とは
海がどうなっても構わな
いのですか

三陸の海は、世界的
な漁場であり、日本国
民の食物の供給源です。



きれいな自然の海水が海
の生物を育ててきました。
ワカメ・ホタテ・ウニなど
が養殖され、全国の消費
者の高い評価を受けて来
ました。環境評価さえし
ないのはなぜですか？

質問5 監視体制は
どうなっています
か？

放射能粒子は海底に
蓄積され、いつまでも放
射線を出し続けるもの
が多くあります。海藻
や魚の食物連鎖によつて
濃縮され、人間の体に入
ります。子供や胎児は、
最も深刻なダメージを
受けます。

トリチウム、ヨウ素、セ
シウム、ストロンチウム
プルトニウムなど人体に
影響のある全ての核種に
ついて監視される体制と
なっているのですか。

放射能放出の濃度
基準」はありますか？

質問6 万一の場合の
補償は？

沿岸住民、全国の消
費者の健康調査の体制
はありますか？

実際に汚染が確認さ
れたり、風評被害」が
起こったとき、岩手県の
漁民への補償はどうなる
のですか？ 誰が責任を
取ってくれるのですか。

(まとめ尚)